

事業所名

ここ・みるプラス

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

27 日

法人（事業所）理念		～子ども達の今とこれからのために～ 専門性の高い支援(療育・言語訓練・学習支援)で子ども達の力と自信を育てます。						
支援方針		1人ひとりに寄り添い、できたを積み重ねる楽しさを味わいながら力と自信を伸ばす。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	●身辺自立の促進：身だしなみを自分で整えられるよう声かけを行っています。片付ける場所や置く場所を決めて視覚的に環境を設定したり、身の回りを整理する機会と時間を作ったりすることで、自発的な整理整頓の意識につなげています。						
	運動・感覚	●学習姿勢の形成・保持：正しい姿勢を身に着けていけるような配慮や声掛けをしています。特に低学年はポイントスター制度を利用するなど楽しみながら意欲的に学習中の姿勢を保てるような支援をしています。特性や障害に合わせて、机を斜面にしたり足元に台を置いたり、使うものや環境を個々に合わせて支援しています。						
	認知・行動	●認知構成能力・注意集中の向上：学習の前後に、間違い探しや迷路、点つなぎ、聞き取り課題などを行うことで、集中力や注意力、記憶力の向上を目指しています。						
	言語 コミュニケーション	●言語発達の向上：言語発達に繋がる課題（語列挙、聞き取り、Q&Aなど）や学習（文章問題や今日の感想など）、療育活動の中で様々な表現に触れ、語彙力や説明力が伸びていくよう支援しています。						
	人間関係 社会性	●対人ソーシャルスキルの向上：他者に意識を向け興味を持ち社会性を身につけられるよう、子ども同士のQ&Aを行っています。ソーシャルスキルトレーニングでは少人数でルールのある遊びや話し合いの時間を設けています。						
家族支援		原則月1回の頻度で保護者の方と面談をする機会を設けています。ここ・みるプラス内でどのように過ごしているかを伝え、家庭や学校での様子の聞き取りを行うことで、支援内容を明確にし、一人ひとりに合わせた関わり方が出来るようにしています。			移行支援		・必要に応じ、相談支援事業所や学校と連携を取り、関わり方を統一することで本人の成長がより促されるよう支援しています。 ・学習だけでなく日常生活を送るうえで必要となる支援を行うなど、見通しを立て継続した支援が出来る環境を整えています。	
地域支援・地域連携		名東区が開催しているそだつ部会に参加し、他事業所の方と情報を共有することで、地域に即した支援ができるようにしています。			職員の質の向上		・内部研修や事例検討を定期的に行うことで支援の質の向上を目指しています。また、週に一度必ず会議を行い、全職員で情報を共有することで、どの職員も同じ支援ができるようにしています。	
主な行事等		・季節に合わせた絵本・紙芝居・製作などを通し、日本の年中行事に触れるきっかけを多く取り入れられるようにしています。 ・長期休み期間は学習後にお楽しみの時間を設け、お祭りのくじ引きやゲームなどに参加出来るようにしています。						